

令和5年度 大阪商業大学堺高等学校 学校評価

1 めざす学校像

- 建学の理念・校訓である「誠実」で「不撓不屈の精神」を有した生徒を育み「世に役立つ人物の養成」が実現できる学校をめざす。
- (1) 生徒の人権・人格・個性が尊重され、生き生きと学校生活を送る中で学力の獲得、マナー・モラルの改善など人間的成长をはかり、豊かな人格を形成できる学校。
 - (2) 地域に貢献し、支える中で、建学の理念を地域から活躍・発信し、生きる喜びが実感できる体験を通して、時代と社会に必要とされる教育機関として、ゆるぎない地位を占める学校。
 - (3) 教職員、生徒、保護者にとって、ここでの出会いと学びが明るく楽しく、豊かなこころが育ち、家庭や地域の幸福へつながる他に類を見ない学校。

2 中期的目標

1 学力と道德心を備えた社会に有用な豊かな人格の育成。

- (1) 各コースの特色を生かした教育課程を編成し、生徒の学習意欲の向上を図る。
 - ア 公開授業等を活用して「生徒自ら取り組む授業」への改善を図る。
 - ※ 生徒の「授業は内容が充実し、わかりやすく展開されている」(R4の82%をR5には90%以上にする)
 - イ 外部機関や他校の研究授業・研修に積極的に参加するよう奨励し、自ら学び続ける教職員集団を育む。
 - ※ 外部機関や他校の研究授業・研修に20人以上の参加。校内研修会で1度は全員が学習する。
 - ウ 生徒の多様な学びの要望に応える授業やカリキュラム、課外プログラムの提供に努める。
 - ※ 生徒の「進路に関する必要な情報が適切になされている」(R4の90%をR5も90%を維持する)
 - ※ 生徒の「授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している」(R4の78%をR5には85%以上にする)
 - エ 進路に対する目的意識向上を図り、希望進路の達成を図る。
 - ※ 3年生の「希望する進路が達成できる」(R4の94%をR5には95%以上にする)
- (2) 特別教育活動など多様な体験活動を通して達成感で自尊感情と規範意識を高める。
 - ア 頭髪、服装、遅刻指導を推進する。
 - ※ 生徒の「校則・規則など学校の決まりは妥当である」(R4の66%をR5には75%以上にする)
 - ※ 年間生徒一人当たり遅刻回数R4の3.2回をR5には3回未満にする。
 - イ SNSの普及による対人トラブルや人権侵害についての学習を推進する。
 - ※ このテーマに関連した新入生対象の学習会を年間3回以上実施する。
 - ウ 朝夕の立ち番指導でいさつや通学マナーの向上を図る。
 - ※ 生徒の「生徒はマナーを守り、挨拶ができる」(R4の77%をR5には80%以上にする)
 - エ 体育祭、文化祭など生徒自治活動を推進し、学校行事の充実・発展を図る。
 - ※ 生徒の「体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力し合って取り組んでいる」(R4の95%をR5も90%以上を維持する)
 - オ クラブ活動の一層の活性化を図る。
 - ※ 教育活動推進部によるクラブ加入率調査 (R4の58%をR5には60%以上にする)
- (3) 特別教育活動、教育相談の充実。
 - ア 特別なニーズを有する生徒に適切な対応を図れるよう教職員の研修を推進する。
 - ※ このテーマに関連した教職員向け研修会に3回、5人以上の参加。校内研修会で1度は全員が学習する。
 - イ 保護者、中学校、教育相談員、医療機関等との連携を密にし、多様な生徒への援助を図る。
 - ※ 教育相談員（カウンセラー）が来校し相談できるシステムを知っている」(R4生徒の59%・保護者の66%をR5には65%以上にする)
 - ウ 生徒情報を共有化し、3年間を見通してきめ細かい指導を行う。
 - ※ 教育相談室は130日以上開室 (R4は120日)、全面接回数は400回以上を維持 (R4は490回)

2 地域に開かれ信頼される学校づくりの推進。

- (1) 勤労教育の実践を推進し、建学の理念を体得させる。
 - ア 勤労体験学習の一層の充実を図る。
 - ※ 2年生の「勤労教育によく取り組んでいる」(R4の92%をR5も90%以上を維持する)
 - イ 近隣小学校の農業体験（総合学習）のサポートを通して連携強化を図る。
 - ※ 年間20時間以上の農業体験に取り組む。
 - ウ 収穫感謝祭を通して近隣住民に本校の教育活動への理解と協力を推進する。
 - ※ 収穫感謝祭の参加者を300人以上 (R4は外來者数未集計)
 - (2) 地域社会の一員としての自覚と責任感を持ち、活動を通して他者を思いやる心を養う。
 - ア 堀上町一斉清掃へのボランティアを継続し地域の美化向上に努める。
 - ※ 保護者の「商大堺は地域から信頼される学校である」(R4の82%をR5には90%以上にする)
 - イ 堺市内の各種イベントに積極的に参加・協力し、地域のコミュニティや教育づくりに貢献する。
 - ※ 堺市立小学校連合運動会、中区区民フェスタ、「SHSなか学コミュニティ」など堺市内の各種イベントにのべ100名以上参加。
 - (3) 学校情報の配信を充実させる。
 - ア オープンスクールや学校説明会、トワイライト説明会の内容を充実させる。
 - ※ オープンスクールの参加者を500名以上 (R4は429名)、学校説明会の参加者を600名以上 (R4は488名)
 - トワイライト説明会はのべ6回、参加者は100組以上 (R4は75組)
 - イ 学校ホームページ、学校案内、meets up!、さくら連絡網などを更新、活用し学校情報の積極的な配信に努める。
 - ※ 学校ホームページは週1回以上更新。さくら連絡網の在校生・保護者の95%以上の登録。(R4は98%)
 - (4) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育を推進する。
 - ア 耐用年数、生徒数増加に見合った学校施設等の諸条件の整備・改善を推進する。
 - ※ 生徒・保護者の「学校の施設は充実している」(R4生徒の49%・保護者の44%をR5には60%以上にする)
 - イ 防災教育や危機管理体制を再構築する。
 - ※ 年2回以上の全校避難訓練を実施。

3 生徒、保護者から信頼され、帰属意識を高める学校づくりの推進。

- (1) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団を育む。
 - ア 学力向上、生徒自治活動、教育相談などあらゆる教育活動を教職員が集団で取組む体制を推進する。
 - ※ 生徒の「先生は協力しあっている」(R4の85%をR5も85%維持する)
 - ※ 生徒の「先生方は気軽に相談できる雰囲気である」(R4の85%をR5も85%維持する)
 - ※ 生徒の「商大堺での高校生活に満足している」(R4の90%をR5も90%以上を維持する)
 - イ 生徒による学校内外の清掃・美化意識を高めるよう推進する。
 - ※ 生徒、保護者の「校舎内は清掃がなされており、良い環境である」(R4生徒の69%・保護者の74%をR5には75%以上にする)

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

| 自己評価アンケートの結果と分析 [令和6年2月実施分] | 学校評価委員会からの意見 |
|--|---|
| <p>『生徒』</p> <p>学校的教育方針を理解している 86%</p> <p>ゼロチャイムなど主体的に学校生活に取り組んでいる 87%</p> <p>『保護者』</p> <p>学校的教育方針を理解している 91%</p> <p>ゼロチャイムなど、主体的に学校生活に取り組んでいる 89%</p> <p>『教員』</p> <p>学校的教育方針に沿って教育活動を展開している 82%</p> <p>生徒はゼロチャイムなどにより主体的な学校生活を送っている 54%</p> <p>⇒教育方針については第三者とも高評価であり、建学の理念・教育方針に沿った教育が円滑に行われているといえる。しかし、主体的な学校生活について、ゼロチャイムによる時間を守った行動ができていることで生徒は高い値だが、教員の値は低い。教員は、その他の行動も含め判断したのではないか。時間管理だけでなく、様々な点において、主体的な行動ができる生徒を育成していきたい。</p> <p>(課題1)</p> <p>『生徒』</p> <p>授業は内容が充実し、わかりやすく展開されている 90%</p> <p>生徒は学習によく取り組んでいる 82%</p> <p>『保護者』</p> <p>授業は内容が充実し、分かりやすく展開されている 89%</p> <p>生徒は学習によく取り組んでいる 70%</p> <p>『教員』</p> <p>授業の内容を充実させわかりやすく展開する工夫がなされている 76%</p> <p>生徒は学習によく取り組んでいる 35%</p> <p>⇒生徒の評価は、学習によく取り組み、教員の授業内容に満足している。しかし、教員の評価は低く、もっと頑張れる、頑張ってほしいと感じているのではないだろうか。また、教員の授業展開への工夫に対する好評価が75%であり、100%となるよう研究授業や外部研修などで切磋琢磨する必要がある。</p> <p>(課題2)</p> <p>『生徒』</p> <p>校則・規則など学校の決まりは妥当である 73%</p> <p>校則を守って学校生活を送っている 94%</p> <p>生徒は校則を守っている 66%</p> <p>『保護者』</p> <p>校則・規則など学校の決まりは妥当である 83%</p> <p>生徒は校則を守っている 80%</p> <p>『教員』</p> <p>校則・規則など学校の決まりは妥当である 61%</p> <p>生徒は校則を守っている 44%</p> <p>⇒三者の数値が乖離している。校則の必要性、必然性をしっかりと伝え、生徒・保護者と共有していくことと、時代に合わせた変更を今後も考えていく必要もあるのではないか。</p> <p>『生徒 2年』</p> <p>勤労教育に取り組んでいる 95%</p> <p>『保護者』</p> <p>勤労教育によく取り組んでいる 94%</p> <p>『教員』</p> <p>生徒は勤労教育によく取り組んでいる 83%</p> <p>⇒本校の特色ある勤労教育に生徒がよく取り組み、好評価を得ている。</p> <p>(課題)</p> <p>『生徒』</p> <p>学校的施設は充実している 61%</p> <p>『保護者』</p> <p>学校的施設は充実している 50%</p> <p>『教員』</p> <p>学校的施設は充実している 17%</p> <p>⇒ICT機器などハード面は整いつつあるが、築約50年の校舎をはじめ、老朽化している箇所の対策を行い、安全安心な学校にしていくことが急務である。</p> <p>『生徒』</p> <p>商大堺での高校生活に満足している 92%</p> <p>『教員』</p> <p>生徒は商大堺での高校生活に満足している 74%</p> <p>⇒大半の生徒が高校生活に満足できている。しかし、教員からは少し低い値となっている。行事だけでなく様々な場面で、明るく楽しい学校生活が送れるよう、日々生徒と関わっていくことが大事である。</p> | <p>・従来より令和5年度のほうが、すべての設問に「①そう思う」「②どちらかといえばそう思う」を選択した回答率が明らかに高くなっています。生徒自身が自分の学校生活において頑張っているという意識や外部評価項目について肯定感をもてるよう先生方からご指導いただいた結果がこのような形で現れたのではないかと思い、とても有り難いと感じました。</p> <p>・多くの先生方が商大堺の教育方針を理解し実践・取り組んでいることがわかります。各コース、生徒一人ひとりにあった学習方法、多様な学び、要望に応じた補講や講座、外部専門者の講義など、サポートもあり充実していると思います。</p> <p>・「ゼロチャイムなど主体的に学校生活に取り組んでいる」について、生徒の52.9%が「そう思う」と答えており、時間を自分で意識するようになり機敏な行動がどれ、社会に出てからも役立つのではないかでしょうか。</p> <p>・アンケート結果では、生徒と教員の感じ方の差があるようです。教員から見ると生徒の学習態度が消極的なのでしょうか。クラブ活動に熱心な生徒も多くいますが、授業内容や教育環境の工夫をしていただくことで、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるようになってほしいと思います。</p> <p>・「授業の内容が充実し、わかりやすく展開されている」という設問に対して生徒の90%が「されている・どちらかといえばされている」と回答しています。先生方の75.9%が「工夫している・どちらかといえば工夫している」という回答の賜物であり、公開授業での研究や外部研修などの成果の表れではないでしょうか。しかし、「生徒は学習によく取り組んでいる」の設問に対して、生徒の81.6%が「取り組んでいる・どちらかといえば取り組んでいる」と回答しているのに対して、64.8%の先生方が「どちらかといえば取り組んでいない・取り組んでいない」と回答されています。これは先生方が生徒に対してもっとできる、もっと取り組めるのではないかという期待の表れのようにも思います。24.1%の先生方が授業内容を工夫していないとの回答もあります。先生方お一人おひとりが生徒に対して更に理解を深め、授業に取り組まれるように学校として研修等の充実や確保をし続けていただけると有難いです。</p> <p>・「校則・規則などの決まりは妥当である」では、多くの保護者に理解があることがわかりましたが、年間生徒1人当たり遅刻回数4.1回の数に驚きました。自らの時間管理ができる習慣を高校生活で修得して、規則正しい生活につなげられるように指導をお願いします。</p> <p>・「生徒は校則を守っている」という設問に対して教員アンケートでは「守っている」と回答された先生がひとりもおらず、「どちらかといえば守っていない・守っていない」との回答が5割を超えていました。しかし、生徒の66.4%、保護者の80%は「守っている・どちらかといえば守っている」との回答でした。生徒自身は校則を守っているつもりでも先生方から見て「校則を守っていない」と指導されるような見解のズレのようなものがあるかもしれません。自己評価にあるように遅刻が多いという点が低評価につながっているのでしょうか。</p> <p>・子どもたちが勤労の意義や働く人々の様々な思いがわかるようになり職業、勤労に対する理解、認識を深めるいい機会だと思います。収穫祭では、地域の方々多く来校していただき大切なつながりがあり、これからも商大堺の勤労教育をアピールしてください。</p> <p>・教員・保護者共に低評価が過半数を占めています。校舎自体が古いのは仕方がないのですが、廊下やトイレなどは少し薄暗い印象を与えてしまっているので、徐々に改修を進めてほしいと思っています。また、近年では小学校でもICTを使った授業が進んでいるので、本校でもICTを活用できるようにハード面を整えていただき、教員の授業・指導に役立ててほしいと思います。</p> <p>・「学校の施設は充実している」について、保護者・教員共に「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が多く、校舎や体育館の耐震が不安です。今、地震が多く南海トラフ地震などに備えて早急な対策をお願いします。</p> <p>・生徒・教員どちらも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が大半を占めており、肯定的に学校生活を送っている生徒が多いことにとても嬉しく思っています。この要因は、教員をはじめ学校全体が生徒のことを熱心に考えてくれているからこそだと感じています。これからも、たくさんの魅力を発信する商大堺高等学校であり続けてください。</p> |

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | | 具体的な取組計画・内容 | 総括・自己評価 |
|-------------------------------|--|--|---|--|
| 1 学力と道德心を備えた社会に有用な豊かな人格の育成 | (1) 各コースの特色を生かした教育課程を編成し、生徒の学習意欲の向上を図る。 | ア 公開授業等を活用して「生徒自ら取り組む授業」への改善を図る。 | 生徒の「授業は内容が充実し、わかりやすく展開されている」は90%以上 (R4は82%) | 生徒アンケートは8ポイント増加。1、2年生にタブレットが導入され、試行錯誤の授業実施であったが、学習アプリの活用を含め学習の定着につながっている。また、教員においては、公開授業実施時に個々の授業の見せ場を伝えることで、互いの授業研究に大いにつながったといえる。 (○) |
| | | イ 外部機関や他校の研究授業・研修に積極的に参加するよう奨励し、自ら学び続ける教職員集団を育む。 | 外部機関や他校の研究授業・研修に20人以上の参加 校内研修会で1度は全員が学習する。 | 日本私学教育研究所主催の全国私学研究大会をはじめ、大阪私学中学校高等学校連合会や私学マネジメント協会等で実施の各教科・分掌に関わる研究会だけでなく、ICT教育に関わる研修などに数多くの教員が参加。外部で参加した研修内容の情報を共有するだけでなく、三校合同研修会や本校の研修会に講師として来校いただきなど、全教員のスキルアップにつながった。 (○) |
| | | ウ 生徒の多様な学びの要望に応える授業やカリキュラム、課外プログラムの提供に努める。 | 生徒の「進路に関する必要な情報が適切になされている」は90%以上 (R4は90%) 生徒の「授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している」は85%以上 (R4は78%) | 生徒アンケート「進路に関する情報」は3ポイント増加。進路別や職業別のガイダンスを1年次から実施し、早期からの進路選択の意識づけがうまく行えている。しかし從来から行っている2年次での大学見学は、観光バス代の高騰により実施方法の検討を行う必要がある。 生徒アンケート「補講や講座」は7ポイント増加。第3回英検に向けて、専門業者にお願いした対策講座を実施し、從来から行っている本校教員の補習や進学講座以外も行ったことが、生徒のニーズに合ったといえる。 (○) |
| | | エ 進路に対する目的意識向上を図り、希望進路の達成を図る。 | 3年生の「希望する進路が達成できる」は95%以上 (R4の3年生は94%) | 3年生アンケートは4ポイント増加。コロナ禍で高校生活を送った生徒たちであったが、本校での3年間は充実し、個々の希望進路実現に至ったといえる。今後も、より高い目標を目指し、実現するためのサポートを全教員で行っていく必要がある。 (○) |
| | (2) 特別教育活動など多様な体験活動を通して達成感で自尊感情と規範意識を高める。 | ア 頭髪、服装、遅刻指導を推進する。 | 生徒アンケート「校則・規則など学校の決まりは妥当である」は75%以上 (R4は66%) 年間生徒一人当たり遅刻回数を3回未満にする (R4は3.2回) | 生徒アンケートは6ポイント増加。生徒指導部においても、指導方法の検討を行い、指導を行うこと以上に理解させることを行っていることが、ポイントの上昇につながったのではないか。 また、生徒一人当たりの遅刻回数は4.1回となり、大幅に増加した。コロナ禍の無理をしてまで登校しなくてよかつた生活への慣れもあるのか、通常の登校に体調の維持が続かない生徒も一定数いるのではないか。また、11月からゼロチャイムが始まり、主体的に自ら時間管理できる習慣づけを行っていることが、規則正しい生活につながることを期待する。 (×) |
| | | イ SNSの普及による対人トラブルや人権侵害についての学習を推進する。 | このテーマに関連した新入生対象の学習会を年間3回以上実施 | 入学時より、学年集会やHRの機会を用いて、SNSの危険性や人権学習について学習を行った。また、クロームブックの活用も始まったため、特に利用マナーに関わる注意を徹底した。しかし、生徒たちはSNSを通じて24時間つながっていることが良くも悪くもあり、人間関係のトラブルにつながる温床となっているため、生徒たちの様子に注視することが必要である。 (△) |
| | | ウ 朝夕の立ち番指導であいさつや通学マナーの向上を図る。 | 生徒の「生徒はマナーを守り、挨拶ができる」は80%以上 (R4は77%) | 生徒アンケートは5ポイント増加。コロナ5類移行後、マスク着用の生徒も減少し、互いの顔が見えるようになったことも、挨拶の増加につながっているのではないか。特にクラブ生の元気な挨拶が来校者からも好評であり、学校全体の明るさと活気を体現してくれている。 (○) |
| | | エ 体育祭、文化祭など生徒自治活動を推進し、学校行事の充実・発展を図る。 | 生徒の「体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力し合って取り組んでいる」は90%以上 (R4は95%) | 生徒アンケートは変化なく、高ポイントである。全校生を6団体に分割して実施の体育祭も恒例化てきて、学年・コースの垣根なく生徒たちの盛り上がる良い光景となっている。文化祭においては保護者のみの公開であったが1,000名弱の来校があり、生徒たちの活気あふれる姿を見ていたいだいた。 (○) |
| | | オ クラブ活動の一層の活性化を図る。 | 教育活動推進部調査によるクラブ加入率は60%以上 (R4は58%) | クラブ加入率は2ポイント減少。運動系クラブだけでなく、文化系においては、理科同好会の部昇格や、eスポーツ愛好会の新設など、生徒たちのニーズに合わせた体制作りもできている。クラブ加入数については、コロナ禍で中学時代を過ごした生徒たちのクラブ加入については、数年間推移をみていく必要があるのではないか。 (△) |
| | (3) 特別教育活動、教育相談の充実。 | ア 特別なニーズを有する生徒に適切な対応を図れるよう教職員の研修を推進する。 | このテーマに関連した教職員向け研修会に3回、5人以上の参加 校内研修会で1度は全員が学習する。 | 外部実施の研究会に人権担当2名がのべ12回参加。校内では、個別の指導の必要な生徒に関わる情報を年度当初に実施し、全体での共有を図った。また、人権委員会主催で専門講師を招いた「セクシュアリティを学ぶ会」を3回実施した。 (○) |
| | | イ 保護者、中学校、教育相談員、医療機関等との連携を密にし、多様な生徒への援助を図る。 | 生徒・保護者の「教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを知っている」は65%以上 (R4は生徒59%、保護者66%) | 生徒アンケートは2ポイント増加、保護者アンケートは変化なし。保護者へのこのシステムの周知については、入学時以外は直接の声掛け以外行っておらず、その中で高い数値が維持されているということは必要とする保護者が増えているといえるのではないか。 より認知度を上げ、生徒・保護者が必要と感じた時にスムーズに利用できるシステム及び方策を考える必要があるのではないか。 (△) |
| | | ウ 生徒情報を共有化し、3年間を見通してきめ細かい指導を行う。 | 教育相談室は130日以上開室 (R4は120日)、全面接回数400回以上 (R4は490回) | 開室日数143日、面接回数649回。昨年度は、上半期が週3日体制だったことから、日数・回数とも大幅に増加している。從来から人間関係の構築が不得手な生徒が見られたが、中学・高校時代の多感な時期にコロナ禍での閉鎖的な生活を送ったことも一因ではないだろうか。この場所で話すことが、少し体や心を休め、進級・卒業に向けて歩み出せるきっかけとなればと考える。 (○) |

| | | | | |
|------------------------------------|--|---|--|--|
| 2 地域に開かれ信頼される学校づくりの推進 | (1) 勤労教育の実践を推進し、建学の理念を体得させる。 | ア 勤労体験学習の一層の充実を図る。 | 2年生の「勤労教育によく取り組んでいる」は90%以上(R4の2年生 92%) | 2年生の生徒アンケートは6ポイント増加。週1回の授業や、田植え・稲刈り・収穫感謝祭を通じて、作物のありがたさ、見えない苦労を知り、思いやりの心を持つことにつながっている。(◎) |
| | | イ 近隣小学校の農業体験(総合学習)のサポートを通して連携強化を図る。 | 年間20時間以上の農業体験を実施 | 堺市立平岡小学校の農業体験学習を本校農園や小学校に赴き実施している。農業実習だけでなく、季節に応じた講話をを行い、自然と社会のかかわりを学ぶ場となっている。また、保護者の方が来校されることもあり、地域の方に本校の教育を知っていただく場ともなっている。(○) |
| | | ウ 収穫感謝祭を通して近隣住民に本校の教育活動への理解と協力を推進する。 | 収穫感謝祭に300人以上参加(R4は外來者数未集計) | 本年度は約200名の来校。気候変動の中で作物の収穫も少なかったが、来場された方には品数制限を行う中で喜んで購入いただいた。生徒たちが栽培し、直接販売を行うことが、地域の方との大切なつながりの場となっており、今後も本校の教育を伝えていく機会として実施していく必要がある。(○) |
| | (2) 地域社会の一員としての自覚と責任感を持ち、活動を通して他者を思いやる心を養う。 | ア 堀上町一斉清掃へのボランティアを継続し地域の美化向上に努める。 | 保護者の「商大堺は地域から信頼される学校である」は90%以上(R4は82%) | 保護者アンケートは7ポイント増加。文化祭・体育祭などの行事への保護者の方の参加数も多く、本校の教育活動を広く見ていただいていることが好評価につながっているのではないかだろうか。また、地域とのつながりにおいては、堀上町の一斉清掃に久々に参加し、生徒たちの若い活気あふれる力で町の清掃活動に協力し大いに感謝された。(○) |
| | | イ 堺市内の各種イベントに積極的に参加・協力し、地域のコミュニティや教育づくりに貢献する。 | 堺市立小学校連合運動会、中区区民フェスタ、「SHSなか学コミュニティ」など堺市内の各種イベントに約100名以上参加 | 堺市立小学校連合運動会が数年ぶりに実施されたので、当日の実施の運営、および八田荘小学校の事前練習の手伝いを行なうなど協力を行った。また、中区主催の文化のつどいに、女子ダンス部演技を披露し、地域イベント活性化の一助をなした。各種の地域のイベントがコロナ前に戻る中で、積極的に協力し地域貢献できればと考えている。(○) |
| | (3) 学校情報の配信を充実させる。 | ア オープンスクールや学校説明会、トワイライト説明会の内容を充実させる。 | オープンスクールの参加者を500名以上(R4は429名)、学校説明会の参加者を600名以上(R4は488名)、トワイライト説明会は約6回、参加者は100組以上(R4は75組) | オープンスクールは2回実施で計439名、学校説明会は4回実施で382名、トワイライト説明会は4回実施で97名、学校見学会134名の参加。総数では来校者数が増加し、説明会としては成功といえる。この増加した来校者をいかに専願受験に導けるかが今後の課題であり、生徒の活気あふれる姿を見ていただけるイベントづくりが必要である。(△) |
| | | イ 学校ホームページ、学校案内、meets up!、さくら連絡網などを更新、活用し学校情報の積極的な配信に努める。 | 学校ホームページは週1回以上更新。さくら連絡網の在校生徒保護者の95%以上の登録(R4は98%) | さくら連絡網はほぼ全世帯に登録を願っており、プリントでの周知から連絡網での配信への変更も進んでいる。また、ホームページを活用した広報活動においては、クラブ活動や学校行事を中心に多く掲載できている。今後は、SNSを用いた配信や動画の活用など、受験生のニーズに合う伝え方を行っていく必要がある。(○) |
| | (4) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育を推進する。 | ア 耐用年数、生徒数増加に見合った学校施設等の諸条件の整備・改善を推進する。 | 生徒・保護者の「学校の施設は充実している」を生徒・保護者ともに60%以上(R4は生徒49%・保護者44%) | 生徒アンケートは12ポイント増加、保護者アンケートは7ポイント増加。全HR教室にプロジェクタが設置され、多くの授業で活用されていることが好評価につながっているのではないかだろうか。しかし、校舎、体育館などのハード面については改善されておらず、自由記述においては、体育館のクーラー設置や、校舎の老朽化を訴える声が多く、早急な対策が必要といえる。(△) |
| | | イ 防災教育や危機管理体制を再構築する。 | 年2回以上の全校避難訓練を実施 | 6月、11月に避難訓練を実施した。地震や火災を中心とした避難訓練の実施だが、数年前にあった台風による大きな被害や、津波等についてもしっかりと情報を伝え、命を守ることの大切さを学ぶ機会としている。(○) |
| 3 生徒、保護者から信頼され、帰属意識を高める学校づくりの推進 | (1) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団を育む。 | ア 学力向上、生徒自治活動、教育相談などあらゆる教育活動を教職員が集団で取組む体制を推進する。 | 生徒の「先生は協力しあっている」は85%以上(R4は85%) 生徒の「先生方は気軽に相談できる雰囲気である」は85%以上(R4は85%) 生徒の「商大堺での高校生活に満足している」は90%以上(R4は90%) | 「先生は協力しあっている」は8ポイント増加、「先生方は気軽に相談できる雰囲気である」は3ポイント増加、「商大堺での高校生活に満足している」は6ポイント増加。すべての値が増加しており、教員が一丸となり教育活動を行っており、それが生徒・保護者の信頼を得ているといえるのではないだろうか。この数値に満足するのではなく100%を目指して、すべての活動を進めていく必要がある。(○) |
| | | イ 生徒による学校内外の清掃・美化意識を高めるよう推進する。 | 生徒、保護者の「校舎内外は清掃がなされており、良い環境である」は75%以上(R4は生徒69%・保護者74%) | 生徒アンケートは9ポイント増加、保護者アンケートは2ポイント増加。清掃業者による日常の清掃の賜物であるが、美化委員会を中心とした日々の生徒たちの学校生活の成果の表れではないだろうか。このきれいな環境を今後も維持し、社会でも率先して美化意識の高い商大堺生であることを期待する。(○) |

令和 5 年度 保護者アンケート集計結果

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

| | | ① | ② | ③ | ④ |
|----|-----------------------------------|------|------|------|------|
| 1 | 学校の教育方針を理解している。 | 28.9 | 61.6 | 7.5 | 2.0 |
| 2 | 授業は内容が充実し、分かりやすく展開されている。 | 23.4 | 65.7 | 7.9 | 3.1 |
| 3 | 進路に関する必要な情報が適切に提供されている。 | 35.1 | 51.3 | 9.4 | 4.2 |
| 4 | 授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。 | 27.4 | 52.1 | 14.1 | 6.5 |
| 5 | 校則・規則など学校の決まりは妥当である。 | 37.7 | 44.9 | 10.9 | 6.4 |
| 6 | 本校教員に、気軽に相談できる雰囲気がある。 | 42.5 | 43.3 | 8.9 | 5.3 |
| 7 | 教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを知っている。 | 35.8 | 30.3 | 12.3 | 21.6 |
| 8 | 保護者会の活動は積極的に展開されている。 | 34.9 | 53.0 | 8.7 | 3.4 |
| 9 | 商大堺高校は、地域から信頼される学校である。 | 28.8 | 60.2 | 8.3 | 2.6 |
| 10 | 本校教員は協力しあっている。 | 36.5 | 51.7 | 8.2 | 3.6 |
| 11 | 学校の施設は充実している。 | 13.5 | 36.6 | 26.8 | 23.1 |
| 12 | 校舎内は清掃がなされており、よい環境である。 | 22.7 | 52.3 | 16.0 | 9.0 |
| 13 | 生徒は挨拶やマナーなど基本的な生活習慣ができている。 | 28.9 | 57.4 | 9.2 | 4.4 |
| 14 | 生徒は校則を守っている。 | 22.2 | 57.8 | 13.0 | 6.9 |
| 15 | 生徒は学習によく取り組んでいる。 | 17.5 | 52.5 | 23.3 | 6.7 |
| 16 | クラブ活動が活発である。 | 58.2 | 37.5 | 2.9 | 1.4 |
| 17 | 体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力しあって取り組んでいる。 | 56.8 | 39.9 | 2.8 | 0.6 |
| 18 | 希望する進路が決まっている。 | 51.8 | 31.3 | 8.4 | 8.4 |
| 19 | 勤労教育によく取り組んでいる。 | 48.5 | 45.1 | 5.7 | 0.7 |
| 20 | ゼロチャイムなど、主体的に学校生活に取り組んでいる。 | 41.0 | 48.4 | 6.4 | 4.2 |

令和 5 年度 教員アンケート集計結果

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

| | | ① | ② | ③ | ④ |
|----|------------------------------------|------|------|------|------|
| 1 | 学校の教育方針に沿って教育活動を展開している。 | 20.4 | 61.1 | 14.8 | 3.7 |
| 2 | 授業の内容を充実させわかりやすく展開する工夫がなされている。 | 14.8 | 61.1 | 18.5 | 5.6 |
| 3 | 進路に関する必要な情報を、生徒・保護者に適切に提供している。 | 22.2 | 68.5 | 9.3 | 0.0 |
| 4 | 授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。 | 7.4 | 46.3 | 33.3 | 13.0 |
| 5 | 校則・規則など学校の決まりは妥当である。 | 20.4 | 40.7 | 29.6 | 9.3 |
| 6 | 生徒は先生に相談しやすく、親身になって相談に乗っている。 | 25.9 | 57.4 | 13.0 | 3.7 |
| 7 | 教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを周知している。 | 31.5 | 51.9 | 13.0 | 3.7 |
| 8 | 生徒に関わる家庭への情報提供は十分に行われており、協力体制がとれ | 22.2 | 63.0 | 11.1 | 3.7 |
| 9 | 同僚の先生方には教育活動に関して気軽に相談できる。 | 37.0 | 35.2 | 18.5 | 9.3 |
| 10 | 商大堺は地域から信頼される学校である。 | 11.1 | 42.6 | 35.2 | 11.1 |
| 11 | 同僚の先生は信頼できる。 | 18.5 | 57.4 | 16.7 | 7.4 |
| 12 | 学校の施設は充実している。 | 1.9 | 14.8 | 31.5 | 51.9 |
| 13 | 生徒は挨拶やマナーなど基本的な生活習慣ができている。 | 3.7 | 51.9 | 29.6 | 14.8 |
| 14 | 生徒は校則を守っている。 | 0.0 | 44.4 | 44.4 | 11.1 |
| 15 | 生徒は学習によく取り組んでいる。 | 1.9 | 33.3 | 46.3 | 18.5 |
| 16 | クラブ活動が活発である。 | 29.6 | 55.6 | 13.0 | 1.9 |
| 17 | 体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力しあって取り組んでいる。 | 33.3 | 57.4 | 7.4 | 1.9 |
| 18 | 生徒は勤労教育によく取り組んでいる。 | 27.8 | 55.6 | 14.8 | 1.9 |
| 19 | 生徒は希望する進路が達成できている。 | 7.4 | 77.8 | 9.3 | 5.6 |
| 20 | 生徒はゼロチャイムなどにより主体的な学校生活を送っている。 | 9.3 | 44.4 | 24.1 | 22.2 |
| 21 | 生徒は商大堺での高校生活に満足している。 | 9.3 | 64.8 | 18.5 | 7.4 |

令和5年度学校評価に係る第三者評価委員会 議事録

日 時 : 2024年9月25日 (水) 12:00~13:00

場 所 : 大阪商業大学堺高等学校 校長室

出席者 : 磯崎 伸子 (蜂田神社 宮司)

永野 いつか (堺市教育委員会 事務局 学校教育部 教育課程課 主任指導主事)

増田 信也 (株式会社増田工務店 代表取締役)

富阪 茂 (堀上北自治会長代理)

守口 篤 (医療法人旭医道会ひとねクリニック内科)

好永 保宣 (大阪商業大学堺高等学校 校長)

河野 定幸 (大阪商業大学堺高等学校 副校長)

橋岡 典昭 (大阪商業大学堺高等学校 教頭)

静 純也 (大阪商業大学堺高等学校 教頭)

野島 寛 (大阪商業大学堺高等学校 事務長)

【議題】

大阪商業大学堺高等学校の取組みや教育内容、学校評価への意見、提言等について

【議事】

好永校長より開会挨拶があり、学校案内を基に本校のスクール・ミッション、スクール・ポリシー及び学校改革（「ゼロチャイムプロジェクト」「Feel my own Growth プロジェクト」等）について説明があり、タブレットを活用した生徒の認知能力向上等を目的にしたアプリの導入（「COG-TR」「リーディングスキルテスト」等）の取り組みが披露され、学ぶ習慣、挨拶・礼儀を大事にし、主体的に動ける生徒を育成していることの説明があった。

次に、河野副校長より令和5年度学校評価の概要及び自己評価の内容について、生徒、保護者、教員の各アンケート結果からの課題、改善計画等について詳細な説明があった。

説明を受け、各委員より以下の意見が出された。

① 保護者に学校の教育方針が理解され、教育活動の評価は高いと思うが、「教育相談員（カウンセラー）への相談システム」を知っている保護者の割合が低いことが気になる。大事な取り組みであるので、保護者との情報共有を図り、救える生徒はできるだけ救ってもらいたい。

[回答]

教育相談員（カウンセラー）の周知は、年度当初にクラス担任から説明を行っている。

その他、さくら連絡網での情報配信や掲示、保健室から繋がるケースもあるが、生徒、保

護者に年間を通じて今後、情報提供を行っていきたい。

② アンケート結果を見ると、学年が上がるにつれて学校に対する評価が上がっており、学校方針により生徒をしっかりと育て、生徒にとって居心地の良い学校（学びの場）となっている証であると考える。

[回答]

日頃の教員の教育及び指導の積み重ねと生徒への自主的な活動を促進するプログラム等により、生徒一人ひとりが主体的に行動できてきている結果であると考える。この結果に満足することなく、今後もより高評価になるように取り組んでいきたい。

③ 通学中に自転車を運転しながらスマートフォンを見ている生徒をよく見かけるが、どのように指導されているのか。

[回答]

学校独自の自転車運転免許制度を導入し、交通安全講習や交通事故模擬などを実演しており、登下校時の通学指導も行っている。また、雨の日は傘を差さず雨合羽で登下校するよう指導しており、それらは生徒へ浸透している。今後も安全運転を心掛けるための指導及び啓蒙活動を実施し、生徒の意識向上を図り安全が確保できるように努めたい。

④ 生徒のアンケート結果からは子供たちが熱心に勉学に励んでいることが伺えるが、一方で教員のアンケート結果を見ると「生徒は学習によく取り組んでいる」の数値が低くこの差が気になる。

[回答]

アンケート結果からも生徒はよく勉強している。放課後も残って教員の指導を受け、勉学に励む生徒も多い。また、放課後に実施している進学講座を受講する生徒も多く意欲的に学ぼうとする姿勢も見られる。教員とのギャップが生まれるのは、学ぶ意欲の高い生徒がいる一方で、そうでない生徒もあり、教員の期待値が高くなってしまうことが要因の一つだと考える。

⑤ 長年、学校医・産業医として学校を見ているが、男子校から共学になり、学校の雰囲気が明るくなった。夏の大会が終わった野球部員が、勤務先に介護実習生として来たこともあり、良い学校になってきたと感じる。衛生委員会にも出席しているが、学校の衛生環境も年々良くなっている。